

L07-01 博物館での櫓の展示

各地の歴史博物館、民俗資料館、交通科学館、図書館などを探せば、櫓に関する資料や展示があるかもしれない。以下はその事例である。

1 広島市郷土資料館

太田川の川舟(実物)の展示がある。帆走を主とし、櫓漕もしていたようだ。櫓べそや櫓縄は、艇の中心ではなくオフセットされていることがよくわかる。ただ、櫓足の形状に、技術的な洗練は見られない。羽子板を山型にしたような直線的な造りだ。帆走主体で櫓を舵と兼用したための形かもしれない。推進用のブレードとしては少し効率が悪そうだ。



2 広島市交通科学館より

いくつかの模型展示に、櫓を見ることができる。弁才船(べざいせん、下図)は、いわゆる千石船で、甲板に載せられた小艇の上に櫓がある。艇の大きさと櫓の長さの比がわかる。



天地丸は、徳川幕府の将軍の船。船尾に櫓が配備されている

